

きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

平成29年 学校教育だより

March **3** 第332号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711 (内線623)



自然と共に学ぼう

写真提供／西中学校

「成長する私」

水谷小学校六年

佐藤 萌香

アルバムを見た

笑ってピースする自分がいた

それはすごく幼くて

自分じゃないみたいだ

成長って早いなあ

気付かないけど大切なことだ

これからまた年月が経ち

今の私を

なつかしいねって

家族と笑う私がいる

時はすぐ経つ

私も大人になってゆく

体験を通してよさを実感する子どもたち

学級会の実践を重ねていくと、子ども達はだんだんと変わっていきま...

学校研究の取組

本校では、「思いやりをもち、互いによりよく生きよう」とす...

＝小学校 特別活動＝ 楽しく豊かな学級をつくる学級会の実践

わかる授業

「本郷中学校A組の取組」

本郷中学校 教諭 鈴木 和男

本郷中学校の「A組」は、男子二名、女子二名の四名で毎日楽しく頑張っています。

行事は体育祭、合唱コンクール、ロードレース大会に通常学級の生徒と一緒に参加しています。

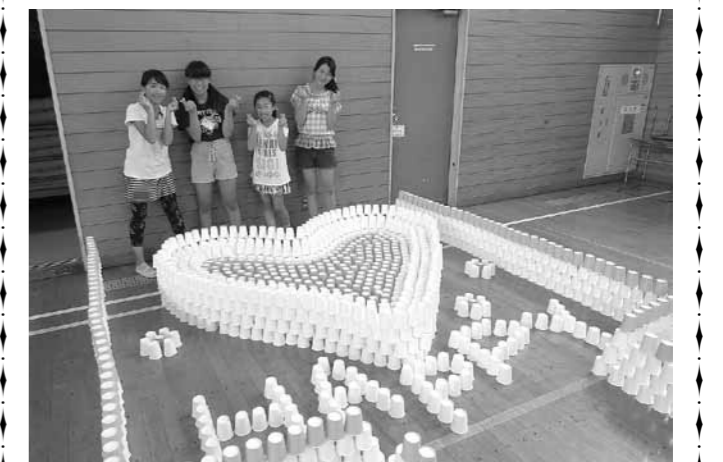
「思いを伝え合う」

学級会は、相手を言いくるめたり、一人一人が意見を言った...

仲間と未来へ

私は、この1年間を楽しんで過ごしました。4月、6年生というプレッシャーに不安を感じていました。

卒業式では呼びかけの中で6年生が合唱する曲の伴奏を練習しています。



「提案理由、めあて」 どうして話し合うのかについて共通理解を図る...



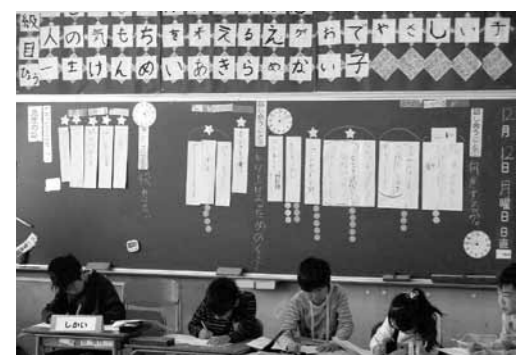
④終わりの言葉

「話し合うこと」 ①で決まった「何でもバスケット」...

「話し合うこと」 ②では、「かぎり、くす玉クリスマスツリー」の3つに決まりました。

指導・講評 関沢小学校長 今井 寛

東野教諭の授業は、二年間学校研究として取り組んできた成果がよく現れた授業です。



子育てでの一喜一憂

みずほ台小 保護者 八木橋 覚

うちには、高二と小四の二人の息子がおります。
幸いなことに、私は上の子が生まれた時から子育てに積極的に関わることができ、成長をいつも間近で感じることが出来て



小学校入学後に担任の先生に相談した時に「お父さん大丈夫ですよ。息子さんの笑顔は周りのみんなを明るくしてくれて



ご理解ご協力があったので事だと思っております。子どもたち個人の主張を聞いてくれているから、子ども同士お互いを認め合っているのだと思います。
息子達には、誰とでも良く話をし、お互いを認め合い、人の気持ちを良く考えて行動するように伝えて来ました。



全校びかびか大作戦

ふじみ野小学校

ふじみ野小学校では、「全校びかびか大作戦」という活動を行っています。「全校びかびか大作戦」とは、月一、二回行うたてわり班清掃のこ

言葉はなくとも、隅々まで掃除をしたり、熱心に机を運んだりする上級生の姿を本と

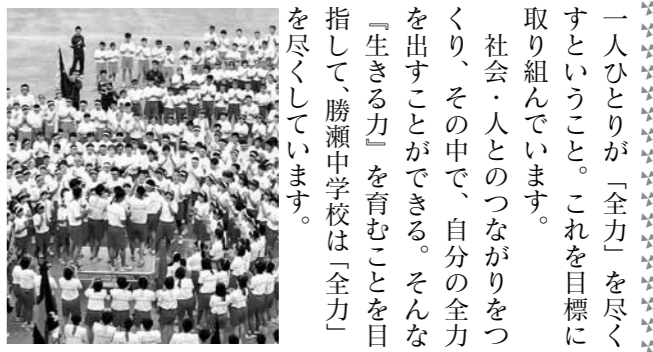


実させ、学校をびかびかにしています。

『社会を生き抜く力』

勝瀬中学校

「勝瀬中の自慢は？」と生徒に聞くと、ほとんどの生徒が「あいさつ」「行事」と答えます。
勝瀬中の校内では、初めての人なら、少しびびりするぐらいのあいさつの声が響きます。「あいさつ」を元気に



五月の体育祭は、勝瀬中の顔です。色別の団やクラスで、丸一日全力で声を出し続ける応援。全校での全力校歌。クラス全員が揃って行う大縄跳。生徒・教員、皆が一体となった「全力」の取組が自慢です。
そうした取組は、十月の合唱発表会、三月の三年生を送る会でも見ることが出来ます。

生きるペース

勝瀬小学校 保護者 山本 伸江

私には二人の息子がいます。今年の四月からは、長男が高校二年生、次男が中学一年生になります。私が母親になつてから十六年、ふり返ってみれば、あつという間でした。
小学校に入学して間もない頃の次男は、長男が五年生で同じ校内にいたからなのかもしれないのですが、休み時間になるとクラスのお友達と遊ぶより兄の所に行つて遊ぶ事の方が多かったようです。も

もちろん、五年生の教室には行かれなかったので、グラウンドで遊んでいる兄の所に行くという感じでした。同学年のお友達ができるのか、クラスに馴染めるのか少し不安でした。でも、学年が上がるにつれてお友達が増え学校の話も良くなっていくようになりました。学校では学年全体で男女仲が良く、呼び捨てでお互い呼び合える程です。それができるのも学校の先生方の

教育課題特集 はぐくむ 生きる力を

～学校・家庭・地域から～

給食から思うこと

学校給食センター 鶴瀬小学校 栄養教諭 西塚 千春

給食センターでは、市内の全小中学校約九千人分の給食を調理、提供しています。栄養教諭である私は、献立作成等の給食管理をしながら、各学校の食に関する指導を行わせていただき、子どもたちと関わっています。学校では、できる限り子どもたちと一緒に給食も食べるようにしています。好きな給食のメニューを教えてください、「完食できたよ!」と報告してくれたりと、嬉しいことにたくさん出会える良い時間ですが、「おいしいけど残す」という子や「多いから減らす」と言つてグンと減らしてしまう子を見かけることも珍しくありません。家に帰れば好きなものを食べられる飽食の現代では、給食が残ってしまうのは仕方のないことなのでしょう。食育の土台となるものです。食べることは一生続き、人は食べたもので作られていきます。心も身体も健康に成長するためには欠かせないことなのです。自分の身体を自分で守れる人





諏訪小

保健委員会による手洗い講座
児童朝会で保健委員会が手洗いの大切さについて発表しました。今後とも健康に関する意識を高めていきます。



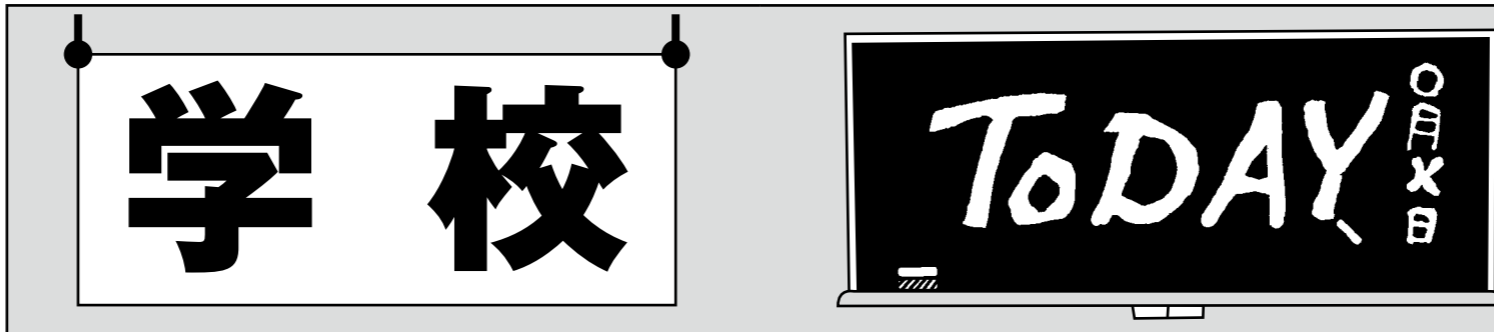
水谷東小

にこにこもぐもぐ、たてわり給食
年に3回1年生から6年生までのたてわりグループのメンバーと一緒に給食を食べ、楽しく話をしながら交流を深めます。



みずほ台小

みずほ台小学校開校40周年式典
みずほ台小学校の開校40周年記念式典が行われました。みずほ台の歴史に触れ、歌を歌ってお祝いしました。



針ヶ谷小

伝統の針小郷土かるた大会
静寂の後、読み札が読まれると一斉に「はいっ！」と元気な声が体育館に響きます。針ヶ谷小の伝統行事です。



勝瀬中

スイスイスイ・スキー
1月15日～17日の2泊3日で、スキー実習が行われました。滑って、転んで、みんなで共通体験！



関沢小

糸車出前教室でビックリ！
1年国語「たぬきの糸車」の学習に合わせ、難波田城資料館の皆様にお越しいただき、糸車の体験をしました。

子ども達はこの一年で多くを経験し、大きく成長することができました。子ども達は、学校の先生だけでなく、地域の方々からたくさんのお話を教えていただき学ぶことができました。また、多くの方がボランティアとして学校を支援してくださいました。心より感謝申し上げます。これからも保護者の皆様や地域の方々にはお世話になります。今後、温かなご支援をよろしくお願ひします。



東中

今年も実った「いじめナシの木」
いじめのない学校にするための行動宣言を梨の実や葉の形の紙に書き、大きな1つの掲示物が完成しました。



西中

あいサポート研修会
社会福祉協議会の皆様を講師にお招きし、開催しました。生徒は真剣に話を聴き、手話等を学びました。



勝瀬小

みんなでがんばったエイフェス
回数を数える声が校庭に響きます。勝瀬の1月の恒例行事エイフェスです。みんなの目標に向かってがんばっています。

II 市教育相談室より II 『特別支援教育』

発達障がいのある子どもの「つまずき」にに応じて、どのような配慮が必要かを考えてみます。

整理整頓が苦手な子

机の上や周囲がいつも物でいっぱい、必要な物をすぐ出せず、大切な物をなくすことが多い子がいます。後片付けが必要なきに、他の事に注意がそれ、見通しをもって物事を考える力や計画的に行動する力が弱いことが考えられます。

対応策としては……

- 自分で管理できるものの量を考え、必要最低限にします。
●片付ける場所や入れ方を一つずつ具体的に教え、練習します。場合によっては、その子専用の片付け箱を用意します。
●必要なものだけを取り出し、こまめにしようよう声かけをします。
●作業と作業の間の片付け時間を取り、持ち物の整理日を設けます。

乱暴な言葉や態度が目立つ子

聞いている方がいやな気分になってしまいうような言葉や態度を言ったり、ぶつ、ける物を投げるなどの攻撃的な態度をとったりしがちな子どもがいます。まず、どのような状況でこのような言葉や行動になるのか見極めましょう。

- ? 苦手な学習や自信のない課題ではないだろうか。
? 注意や指示でイライラしているのか。
? 自分の気持ちをうまく表現できないからなのか。
自信がなく、見通しがもてないことへの不安が強く、自分を守るために攻撃的な言葉や態度で抵抗していることが考えられます。また、状況理解や言語理解ができず、混乱していることが考えられます。
対応策としては……
●見通しが持てるように具体的に達成可能な目標を設定し、視覚的に手順を示します。
●すぐに評価し、「できた」「やった」という自己有用感を高めます。
●穏やかな口調で話し、落ち着いた状況で短い指示をします。
●相手を傷つけずに、自分の気持ちを話す経験を積んでいきます。
●落ち着ける場所を別に用意します。

子どもは一人一人違います。同じような行動でも背景となることが違えば配慮も異なってきます。発達障がいのある子どもは「困った子」ではなく「困っている子」です。保護者と学校が子どもの状況を理解して適切な支援の仕方を一緒に工夫し、確認し合いながら配慮していくことが何よりも大切です。

(問合せ) 富士見市教育相談室

TEL 049-1253-1531 3

教育委員会だより

卒業おめでとございます

今春、1839名のみなさんが、市内の小・中・特別支援学校を卒業します。保護者のみなさまには、お子様の成長を振り返り、感慨もひとしおのことでしょう。

卒業生のみなさんは、通い慣れた学校と一緒に過ごした仲間たちとの別れに寂しさを感じながらも、これからの生活にわくわく胸を弾ませているのではないのでしょうか。新しい場所で、たくさんの人との出会いを通して、広い視野をもった心豊かな人に成長することを願っています。

在校生のみなさん、4月から1学年ずつ進級します。この1年間を振り返り、新しい目標に向かって、たくましく元気に学校生活を送りましょう。

平成29年度富士見市立小・特別支援学校入学式
期日：4月10日(月)

※2月13日現在

学校名	開式時刻	入学見込人数
鶴瀬小学校	10:40	102
水谷小学校	10:50	94
南畑小学校	10:45	47
関沢小学校	11:00	84
勝瀬小学校	10:50	105
水谷東小学校	11:00	47
諏訪小学校	10:50	131
みずほ台小学校	11:00	89
針ヶ谷小学校	10:45	52
ふじみ野小学校	10:50	108
つるせ台小学校	10:40	104
富士見台中学校	9:30	178
本郷中学校	9:50	140
東中学校	9:50	93
西中学校	9:20	158
勝瀬中学校	10:05	230
水谷中学校	9:15	91
富士見特別支援学校	10:20	24



友だちがいるからがんばれる

鶴瀬小学校 教諭 内田 明子

四月、希望いっぱい、目をキラキラさせて入学してきた子ども達。入学式から「先生早く勉強しようよ!」と、学校生活を楽しんでいる

時のことです。一人一人が目標を発表し終わると、クルスの友達へ応援の手紙を書いたとの声があがりました。早速、隣の席の子へ、班の子へ…と輪を広げ、手紙を書き始

める手紙が、目標を書いた紙に次々と貼られていきます。手紙を読んだ子ども達の顔は、たちまち笑顔になりました。また一つ、クルスが団結した時間でした。

その後、互いに教え合ったり練習する姿がありました。音楽会当日は、大きな口を開けて堂々と歌を歌ったり、指をたくさん動かして一生懸命に歌ったりすることができ、大成功!一人一人目標を達成することができ、自信のついた音楽会になりました。早いもので、もうすぐ一年が終わろうとしています。今は学習発表会に向けて、励まし合いながら頑張っています。自然と応援でき、励まし合えるこの子たちが、どう成長するのかとても楽しみです。

編集日記

論語の中で孔子は、「十五歳は志学、三十歳は而立、四十歳は不惑、五十歳は知命、六十歳は耳順、七十歳は從心」と言った。「志学」とは、学問で身を立てる決心をしたという意味で、十五歳で自分の興味はどこに向いているか決めなさい、ということである。進学・進級という、新たな道を進んでいく時期になった。義務教育を終える十五歳、自分を生かし、自分の向かっていく方向を選んでいかななくてはいけない。とはいえ、迷うことも多いだろう。中学生への詩を三十年書き続けた詩人宮澤章二さんの詩「君たちが歩くとき」は、次のように結ばれている。君たちがあるとき君たちは一人ではない隣にも 前にも 後ろにも同じ道を歩く仲間がいる互いに支え合う仲間がいる自分の道を歩いていくためには、自らの志が必要だ。しかし、道を進むのは一人だけではない。励まし、支えてくれる仲間がきつという。そういう仲間を大切にしたい。(森田)